

創る

グリーンプロダクト

CO2削減に貢献できる商品の創出
人と環境にやさしい商品・サービスの提供

私たちはコア事業でのEV化や新規事業との両輪でGX（グリーントランスフォーメーション）に取り組んでいます。エネルギー事業においては、生成AIの急激な普及により、データセンターで消費される電力量の急増が予想され、需給のひっ迫による電力システムの不安定化が社会課題となっています。急峻な充放電に対応できるHSC（ハイブリッドスーパーキャパシタ）を活用することで電力補助を行うことが可能となります。また、AIによる自律走行搬送ロボット（AMR）は生産性向上だけでなく、ガスやガソリンなどで動く搬送機の電動化シフトにも役立ちます。これは製造業共通の課題であり、世界の製造現場にお届けすべく開発を進めています

Mobility



グリーンに貢献する
商品・サービス

エネルギー転換や効果

石油 ➡ 電気

Energy



エネルギーマネジメントの
最適化・効率化

Industry



オペレーションの最適化・効率化

使う

グリーンオペレーション

エネルギー効率化,消費の最小化
全工程 再生可能エネルギーでの生産

ムサシの生産活動で利用するエネルギーは、CO2の構成で見した場合、85%は電力、残り15%のほとんどがガスです。「グリーンオペレーション100」の達成に向け、まずは徹底的な省エネ・生産の効率化に取り組んでいます。日々の生産改善活動はもちろんのこと、MMサークル（QC活動）などを通じてさまざまな視点や意見を取り入れています。例えば、熱処理炉の壁に断熱材を施工することで炉内からの排出熱を抑えることで、温度維持に必要なガスの使用量を抑える取組みを国内から開始しており、順次展開を行っています。グローバル生産体制の強みを活かし、改善ノウハウの共有、施策の水平展開を行うことでその効果の加速を図っています。

「マイルストーン2030」にむけて、電力における自家発電の導入や再生可能エネルギー由来電力などCO2排出しない電力への転換を国・地域の特性・優位性を活かしながら順次行っています。2023年現在、国内2拠点、海外2拠点でグリーン電力を活用しており、再エネ由来電力比率は7.5%へと上昇しました。

省エネ活動

熱処理炉の断熱施工



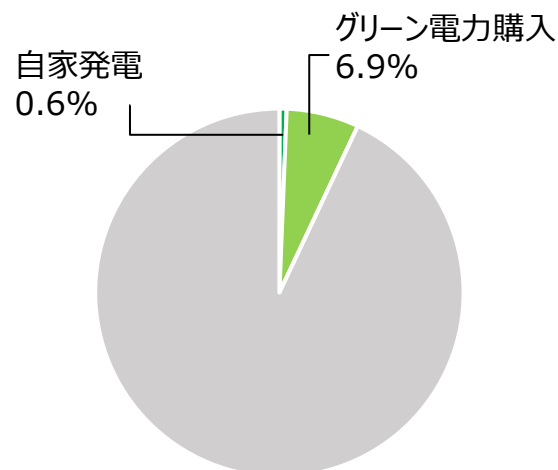
断熱材

炉壁の温度低下

グリーン電力の活用

再エネ由来電力比率

7.5%(2023年度)



武蔵精密工業 本社工場(愛知県)
太陽光パネル



武蔵エナジーソリューションズ(山梨県)
水力由来の電力購入



Musashi Auto Parts India (インド)
太陽光パネル (PPA) + 風力由来の電力購入



Musashi do Brazil (ブラジル)
水力由来の電力購入